

第 69 回広島県高等学校新人卓球大会（個人の部） 競技上の注意

審判長 中元 孝司

1. ルールは現行の日本卓球ルールを採用します。
 - (1) タイムアウト制を採用します。1 マッチにつき、1 回、1 分以内のタイムアウトを取ることができますが、時間を厳守して下さい。チェンジエンドも行います。
 - (2) ゲーム間の休憩は1 分以内です。
 - (3) ユニフォームは上下とも日本卓球協会公認のウェアを着用して下さい。JTТА 赤ワッペンがついたものは原則着用できますが、広告入りのシャツ（メーカーの商標が 24 cm²を超えるもの）は着用できないものがありますのでご注意ください。
 - (4) ダブルスはユニフォームを統一して下さい。ただし、ショーツ・スコートについては同系色のものであればタイプが違って構いません。もしも揃わない場合は事前に審判長に申し出て下さい。2 試合目以降も統一することが原則ですが、汗をかいて着替えるためにやむを得ず揃わない場合はそれを認めます。2 試合目以降で揃わない場合は申し出て頂く必要はありません。
 - (5) プレーとプレーの合間が長い場合は、スロープレイのバッドマナーです。速やかに次のプレーに入るように気を付けてください。
2. アドバイザーについて
 - (1) 大会要項に明記されている立場の方のみ、アドバイザーとして認められます。
 - (2) ダブルスはベスト 8 決定、シングルスはベスト 16 決定よりベンチに入ることができます。また、ベンチに入る際の服装は、白色を基調としたものは避けていただくようお願いいたします。
 - (3) 1 つの試合においてアドバイザーは途中で交代することはできません。試合途中からベンチに入ることができますが、一度ベンチを離れた場合、戻ることはできません。
 - (4) アドバイザーに入る場合は、所定の位置にある椅子をご利用下さい。試合後は椅子を消毒して元の位置にお戻し下さい。
3. ゼッケン、役職者章について
選手は必ず日本卓球協会発行の本年度のゼッケンを着用し、監督の方は会場内において常に日本卓球協会発行の本年度の役職者章を着用して下さい。
4. 進行、審判について
【進行】
 - (1) 1 日目は男女ダブルス決勝まで（3 位決定戦を含む）と男女シングルス 2 回戦までを予定。当日の天候状況により、予定の試合までの消化が難しいと判断された場合は、速やかに放送で連絡し、2 日目に残りの試合を実施する可能性もあります。
 - (2) 男女ともダブルスの 2 回戦終了あたりから同時進行で試合のできる男女シングルスを入れていきます。その後、ダブルスで勝ち残っている選手の男女シングルス 2 回戦までを優先して行います。
 - (3) 1 日目の試合はできる限りタイムテーブルを基本にベンチコール方式で行います。自分の選手番号を覚えておき、放送に注意して下さい。呼ばれた選手は待機場所にて対戦相手を探し、揃ったら本部席横に整列して下さい。
 - (4) ダブルスは 3 位決定戦、シングルスは 5～8 位決定戦も行います。

【審判】

- (1) 1日目と2日目の第1試合の審判はこちらで指名しますが、2試合目以降は原則敗者審判で行います。
- (2) ダブルスは2名、シングルスは1名で審判を行って下さい。
- (3) ダブルスベスト4以上、シングルスベスト8以上の試合からは順位決定トーナメント実施のため該当校から1ペア(1名)につき1名審判を出し、2名で審判をお願いします。審判が出せない場合は、本部へ連絡してください。

5. その他

- (1) 全国高校選抜卓球大会（シングルス2部）広島県予選が2月10日（土）について県新人個人戦のシングルスベスト64に入った選手は参加資格を得ます。
男子は2回戦突破、女子は1回戦突破で確定です。
ただし、以下の条件に該当する選手は出場できません。
（ア） 県新人学校対抗の上位2校
（イ） 過去において全国高等学校総合体育大会卓球競技、国民体育大会、全日本選手権大会、全国選抜シングルス2部に出場あるいはエントリーした者
（ウ） 外国人留学生
組合せは県新人1日目に参加意思を確認後、フリー抽選を行い、決定します。
- (2) ラバー貼り替え場所は設けていないので、貼り替えの必要がある選手は本部に申し出て下さい。無許可で会場内、あるいは周辺で張り替えを行うとペナルティの対象になる場合がありますのでご注意下さい。
- (3) 各種目ともベスト8以上を表彰します。
- (4) ルール、進行等についてご不明な点は、審判長にお尋ね下さい。

以上